

令和6年度 鹿児島工学院専門学校 自己点検・評価

1.	学校教育基本方針 (教育理念)	学校教育法第124条の専修学校の目的と川島学園創立の精神に基づき、高度化・専門化・多様化・国際化の進む社会に即応できるより高度な専門能力とより豊かな資質・個性を備えた全人的職業人を育成する。
	教育目標	1. 教師は「教え育てる」を旨とし、「自己啓発」に努め「率先垂範」に心がけ、組織の中にあっては「和合」を旨とする。 2. 学生は「自立自興」「不屈不撓」の精神をもって、絶えず学習に専念し、知性・技量を磨き、将来の向上発展を期す。 (1) 心・徳の修練：心は言動の基。真心・情熱・信念をもって行動し、信義・礼節を重んじ、心豊かな人格・人徳の向上を図る。 (2) 知・技の修練：知は物事を判断する心情。知力・知性・知識の修練に励み、人格形成と同時に技量の向上と奥義を究める。 (3) 体・行の修練：体は心の鏡。規則正しい生活習慣を持続し、心身ともに健全な人格の形成に邁進する。

2. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価の基準（4：適切，3：ほぼ適切，2：やや不適切，1：不適切）

評価項目	評価
1. 学校の教育理念・教育目標・育成人材像は定められているか	3.5
2. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を中長期的に抱いているか	3.1
3. 各学科の教育目標，育成人材像は，学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.1
4. 教育理念・教育目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	3.1

<具体的取り組み>

- ・学校の教育理念・教育目標・育成人材像を全教員が共有し，入学式・オリエンテーション等で学生及び保護者への周知・ホームページでの公表を行っている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・新学科についても，3つのポリシー（ディプロマ・カリキュラム・アドミッション）を公表しつつ，校内外に対し周知していくために，教職員全員が理解し，オープンキャンパスや学校説明会等の機会積極的に説明していくよう努める。

(2) 学校運営

評価項目	評価
1. 学園・学校の運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.2
2. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.0
3. 人事、給与に関する制度は整備されているか	3.1
4. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.1
5. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.3
6. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.8

<具体的取り組み>

- ・年度始めの職員会議にて事業計画等は全職員へ周知されている。
- ・事業計画・校務分掌等については常に見直し、適切に機能するよう職員会議等で共有できている。
- ・ホームページやSNSを活用し積極的な情報発信に努めている
- ・給与制度の変更等、教職員にとって働きやすい環境となっている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・学籍簿管理など全学科一元管理できた点については良い取り組みであった、今後も精査しながら共有化を推進していきたい。
- ・業務の効率化に関しては、一部の職員に負担が偏っているところがみられ改善策が必要に感じる。

(3) 教育活動

評価項目	評価
1. 教育理念・教育目標・育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）等が策定されているか	3.4
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保が明確にされ、体系的に編成されているか	3.1
3. 関連分野の企業・業界団体等との連携、業界のニーズを踏まえ、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.1
4. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.1
5. 学生の社会的・職業的自立を促すキャリア教育及び実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.1
6. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.1
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.1
8. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.4
9. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.0
10. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.9
11. 教員の資質向上、指導力向上のための研修等が行われているか	2.9

<具体的取り組み>

- ・知識・技能修得のため自ら国家試験に挑戦し、資格取得できた（複数回答あり）
- ・インターンシップは就職活動の一環として実施できている。
- ・実務に即した演習・実習の実施や各業界との連携、心・徳・知・技・体の総合的な修練を目指したカリキュラムを展開している。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・企業や団体との連携を図り、現場見学会や交流会の場を増やしていきたい。
- ・企業・業界との連携強化を図り、より実践的な職業教育と最新の技術動向を反映したカリキュラム作成を行いたい。
- ・職員が日々スキルアップに努める姿勢を見せ、学生の資格取得への意識向上を図りたい。

(4) 学修成果

評価項目	評価
1. 就職率の向上が図られているか	3.5
2. 資格取得率の向上が図られているか	3.6
3. 退学率の低減への取組みが適切に行われているか	3.4
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3.1

<具体的取り組み>

- ・長期休みを利用し資格取得を目指す学生へ特別補習を行い、合格率向上に貢献した。
- ・定期的な資格取得対策と個別指導を実施し、資格取得率と就職率向上を目指した。
- ・卒業生の追跡調査を通じて、教育内容の改善に努めた。
- ・定期的な二者面談、三者面談を行い学生の動向を把握した。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・学習到達度と資格取得率の向上を目指し、個別指導と弱点克服演習を計画的に実施していきたい。
- ・学校全体としても退学者が「ゼロ」であった、引き続き各分野の職業や資格に興味をわくような取り組みを行っていきたい。
- ・学生の声をしっかり把握し、就職へのミスマッチを防ぎつつ、必要な資格取得に向けた最大限のサポートを行っていく。

(5) 学生支援

評価項目	評価
1. 進路・就職に関する支援は適切に行われているか	3.6
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.3
3. 学生の経済的側面に対する支援体制の整備, 修学支援は適切に行われているか	3.6
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.8
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.2
6. 親元を離れている学生の生活環境への支援は行われているか	2.9
7. 保護者と適切に連携しているか	3.1
8. 卒業生への支援体制はあるか	2.7
9. 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	2.9

<具体的取り組み>

- ・親元を離れている学生については、定期的に声掛けを行い状況把握している。
- ・卒業生全員の進路実現することができた。
- ・学生への進路指導・相談・求人情報の開示を定期的に行い個別の採用試験対策や面接指導を行った。
- ・企業訪問や企業説明会の開催を通じて求人開拓を積極的に行い、学生の希望に沿った就職支援が行えた。
- ・学生の希望と適性を十分に考慮し、採用試験までの具体的なスケジュールを計画的に設定させた。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・卒業生の就職後の状況把握と企業からのフィードバックを行いより効果的な進路指導体制の構築を目指す。
- ・資格試験対策や面接練習など、きめ細かな指導を段階的に行い、学生一人一人の就職活動を効果的に支援していきたい。
- ・精神的にケアが必要な学生が増えているように思える、自傷行為や退学等につながらないよう最大限のサポートを行いたい。
- ・学生たちが相談しやすい環境づくりに努めていきたい。

(6) 教育環境

評価項目	評価
1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.4
2. 実習施設、インターンシップ、国内研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.8
3. 防災に対する体制は整備されているか	3.1

< 具体的取り組み >

- ・防災訓練を新入生入学時期に適切に実施している。
- ・インターンシップ参加を積極的に促し、企業を見学させることでイメージをつけやすくした。
- ・施設・設備については、劣化が見られる箇所には、適時、改修等を行っている。
- ・安全性と機能性を重視した施設・設備の維持管理を継続していく。

< 今後に向けた取り組み・課題・改善策 >

- ・教育状況に応じて必要な機材・備品また最新の技術動向に対応した設備導入など、定期的な更新を行いつつ、実習に必要なスペースの整備を優先的かつ効果的に整備していき、実践的な学びをサポートする環境づくりに努めたい。
- ・新学科設立の関係で授業スペースが不足している，クラス全員が一度に実習を行えるだけのスペース確保が困難なため，授業・実習毎の柔軟な工夫が必要である。
- ・予算内で海外研修の経験ができる旅行計画が立てられるとよい。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
1. 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）に基づき、学生募集は適切に行われているか	3.4
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.2
3. 公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	3.4
4. 学納金は妥当なものとなっているか	3.3

<具体的取り組み>

- ・学校説明会やオープンキャンパスを通して、実際の授業や施設体験できる機会を多く設け、本校へ興味を持った生徒たちへ楽しい説明を意識して取り組めた。
- ・実践的な人材育成方法と学習環境を説明し、目的意識の高い学生募集に注力した。
- ・在校生や卒業生の活躍事例を積極的に紹介し、本校での学びの魅力を効果的に伝えた。
- ・入試に関してはその都度職員全員で合否判定をおこなっている。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・高難易度の資格受験者に対しての受験対策できる体制を整えていきたい。
- ・入学者増につながりやすいオープンキャンパス参加者を増やすために、全職員が当番で SNS 発信を継続していきたい。

(8) 財務

評価項目	評価
1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.0
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.8
3. 財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	4.0

<具体的取り組み>

- ・限られた予算内で実習ができるように協力企業と連携をとりながら実習に取り組んだ。
- ・予算内であっても、学生の要望に応じていこうとする学校の動きが見えたように感じる。

<今後に向けた取り組み・課題・改善策>

- ・教育プログラムを継続的に見直し、学生満足度と収益性の両立を図りたい。
- ・女子トイレが整備された一方で、男子学生からも男子トイレの改装要望が多数出ているので何とかしてあげたい。
- ・様々な物価高騰の影響で実習費が不足しがちなため、年度末の予算検討が必要である。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
1. 法令，専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.4
2. 個人情報に関し，その保護のための対策がとられているか	3.2
3. 自己点検・評価の実施と問題点の改善に努め，また，結果を公開しているか	3.2

< 具体的取り組み >

- ・学生の個人情報については，職員室内でも書類を裏返したり，目につかないような工夫を行うなど厳重な管理ができています。

< 今後に向けた取り組み・課題・改善策 >

- ・プライバシー保護の観点から学生本人の意思を第一優先とした考え方を持たなければならない。
- ・SNS や紙面（学校ポスター等）を用いた情報発信などは，特に適切な管理体制のもとで慎重に取り扱う必要がある。

(1 0) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.7
2. 学生のボランティア活動を奨励，支援しているか	2.7

< 具体的取り組み >

- ・建築系学科に関しては，校内コンペや課題作品を定期的に街頭展示するなど積極的にイベントやショッピングモールなどへの展示機会を設け，本校学生の学びと成果を地域社会へ発信した。
- ・中学生の学校見学時には，楽しんで興味をもてるような体験型の授業へ切り替えられたと思う。

< 今後に向けた取り組み・課題・改善策 >

- ・企業や協会などとも連携し幅広いイベントへの参加を促すために，活動評価や表彰制度などを設けていきたい。
- ・近隣住民への貢献として，半年に一回程度清掃活動を行っていきたい。